

令和元年度病院在宅療養出前セミナー企画書

- 1 目的 在宅療養や在宅看取りについて、在宅療養を支えるスタッフと病院医療職の認識の違いが、その後の在宅療養へのスムーズな移行に影響することもあるという現状を踏まえ、病院医療職に「在宅療養・看取りの現場について理解してもらう」ことを目的にセミナーを開催する。
病院スタッフ、在宅スタッフの相互理解を深め、病診連携を進展させることにより、患者のスムーズな退院、安心な在宅療養のスタートを目指す。
- 2 主催 横須賀市、横須賀市医師会、実施病院
- 3 実施病院 開催希望病院 5 病院程度
- 4 会場 各病院内（出前セミナー形式）
※ 平成 25 年度～30 年度で、市立うわまち、市立市民、横須賀共済、自衛隊横須賀、浦賀、衣笠、湘南、聖ヨゼフ、よこすか浦賀、久里浜医療センター、パシフィックホスピタルの 11 病院で延べ 23 回実施
※ 令和元年度も市内全病院を対象
- 5 対象 各病院の全職員
・特に医師の参加をお願いする。
- 6 開催時期 病院ごと個別に調整
※ 時間は平日夜（17 時～20 時頃）の 1 時間程度
- 7 内容
 - （1）横須賀市の現状と医療需要の変化（講師：地域医療推進課職員）
 - ・死亡数予測、人口推計から見えてくること
 - ・在宅療養、在宅看取りが必要とされること
 - ・地域医療構想から見える医療需要の変化
 - （2）在宅医療の現実（講師：在宅療養支援診療所医師）
 - ・在宅医療総論
 - ・在宅医療の実力（在宅ではここまでできる）
 - ・在宅への退院で意識してほしいこと
 - ・在宅医療の受入側の体制も均一ではなく、在宅医もまだ少ない現実
 - （3）＊①または②を選択
 - ①症例検討（病院ごとに内容を変更）
 - ・当該病院から退院し、講師が担当している患者の在宅での状況を症例として紹介
 - ②意見交換
 - ・講師と病院医師等の対話の時間を設け、病診連携や在宅医療についての意見を交換

（裏面あり）

8 講師

在宅療養支援診療所医師（医師会推薦者） 9名

千 場	純	医師（三輪医院）
磯 崎	哲 男	医師（小磯診療所）
土 田	匡 明	医師（湘南山手つちだクリニック）
金 成	正 浩	医師（金成医院）
野 村	良 彦	医師（野村内科クリニック）
春 田	明 郎	医師（横須賀中央診療所）
佐 藤	眞紀子	医師（フロムワン付属診療所）
西 村	京 子	医師（秋谷潮かぜ診療所）
新 井	正 晃	医師（汐入ぱくクリニック）